

第 222 回生存圏シンポジウム 平成 24 年度 RISH 電波科学計算機実験 (KDK) シンポジウム -プログラム (2013 年 3 月 1 日版)-

日時： 平成 25 年 3 月 7 日 (木), 8 日 (金)

場所： 京都大学 宇治キャンパス 木質ホール 3 階

(口頭発表・ポスター発表とも同じ会場です)

宇治キャンパスマップ【木質ホールは紫色の⑤番の建物】

<http://www.uji.kyoto-u.ac.jp/campus/map.pdf>

主催： 京都大学 生存圏研究所

電波科学計算機実験専門委員会

3 月 7 日木曜日 (口頭発表)

15:00 – 15:05 開会の辞

15:05 – 15:25 今村 薫 三次元高速磁気再結合の流入領域の特徴

15:25 – 15:45 加藤雄人 Effect of the magnetic field inhomogeneity on the generation process of whistler-mode chorus emissions

15:45 – 16:05 近藤光志 地球磁気圏近尾部におけるプラズマ流の数値計算と衛星観測

16:05 – 16:25 小路真史 Triggering Process of Electromagnetic Ion Cyclotron Rising Tone Emissions in the Inner Magnetosphere

16:25 – 16:45 藤崎章吾 三次元高速磁気再結合過程の磁気中性線の振る舞い

16:45 – 17:05 中村雅夫 イオンスケールミニ磁気圏のバウショックと境界領域の構造

3 月 8 日金曜日 (口頭発表・ポスター発表)

09:00 – 09:20 清水 徹 高速磁気再結合過程の三次元不安定性と地球磁気圏への応用

09:20 – 09:40 蔡 東生 Analysis of the cusp dynamics under northward IMF within three dimensional PIC global simulations approach

09:40 – 10:00 藤本桂三 開放境界を用いた電磁粒子コードの開発

10:00 – 10:20 Kakad Amarkumar Nonlinear evolution of electrostatic solitary waves: Theory and fluid simulation

10:20 – 12:00 ポスターセッション

(3 月 7 日 14 時よりポスターを貼ることができます。)

1. 久保勇太 FDTD 法による車両上部マイクロ波無線給電システムの計算機実験
2. 三宅壮聡 2 次元 FDTD シミュレーションを用いた Es 層の空間構造推定
3. 疋島 充 コーラス放射の生成における WPIA 擬似計測の評価
4. 中山洋平 Energization of oxygen ions in the inner magnetosphere
5. 西 憲敬 雲頂高度データベースの作成およびその熱帯擾乱への適用(2)
6. 芦田康将 粒子シミュレーションによる磁気プラズマセイルの推力解析
7. 松本正晴 小型ダイポール磁場と太陽風の相互作用に関する AMR-PIC シミュレーション
8. 三宅洋平 宇宙プラズマ環境における電界センサー特性に関する計算機実験
9. 八木耀平 適合格子細分化プラズマ粒子シミュレーションコードの高効率並列化手法に関する研究
10. 西田圭佑 太陽活動現象における 3 次元磁気リコネクション
11. 中野裕文 太陽コロナ磁場の外挿計算を用いた活動領域 AR11263 における磁気リコネクションの研究
12. 鳥井博行 三次元高速磁気再結合過程の電流方向サイズについて